

平成28年第2回西予市議会臨時会会議録（第1号）

1. 招 集 年 月 日 平成28年8月18日

1. 招 集 の 場 所 西予市議会議場

1. 開 会 平成28年8月18日

午後1時30分

1. 閉 会 平成28年8月18日

午後2時16分

1. 出 席 議 員

1 番 宇都宮 久見子

2 番 信 宮 徹 也

3 番 宇都宮 俊 文

5 番 中 村 一 雅

6 番 河 野 清 一

7 番 佐 藤 恒 夫

8 番 山 本 英 明

9 番 竹 崎 幸 仁

10 番 小 玉 忠 重

11 番 源 正 樹

12 番 井 関 陽 一

13 番 菊 池 純 一

14 番 中 村 敬 治

15 番 二 宮 一 朗

16 番 兵 頭 学

17 番 小 野 正 昭

18 番 宇都宮 明 宏

19 番 森 川 一 義

20 番 藤 井 朝 廣

21 番 酒 井 宇之吉

1. 欠 席 議 員

4 番 加 藤 美 香

1. 会議録署名議員

5 番 中 村 一 雅

6 番 河 野 清 一

1. 地方自治法第121条により

説明のため出席した者の職氏名

市 長 管 家 一 夫

副 市 長 河 野 敏 雅

教 育 長 保 木 俊 司

総務部長兼 宗 正 弘

企画財務部長 山 口 正 人

会計管理者 三 好 敏 也

公営企業部長 二 宮 紀 夫

産業建設部長 酒 井 信 也

生活福祉部長 松 川 伸 二

教 育 部 長 道 山 升 文

明浜支所長

野 村 支 所 長 尾 下 孝 二

城 川 支 所 長 田 村 剛

三 瓶 支 所 長 西 本 喜代人

消防本部消防長 西 川 傳

総 務 課 長 宇都宮 裕

財 政 課 長 山 岡 薫 彦

1. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長 浅 野 信 也

議 事 係 長 原井川 英 一

1. 議 事 日 程 別紙のとおり

1. 会議に付した事件 別紙のとおり

1. 会 議 の 経 過 別紙のとおり

議 事 日 程

- 1 会議録署名議員の指名
(5 番 中村一雅、6 番 河野清一)
- 2 会期の決定
(8 月 1 8 日 1 日間)
- 3 議案第 1 1 1 号 西予市消防団消防ポンプ
自動車の取得について
- 4 議案第 1 1 2 号 平成 2 8 年度西予市一般
会計補正予算 (第 3 号)

本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 議案第 1 1 1 号 西予市消防団消防ポンプ
自動車の取得について
- 4 議案第 1 1 2 号 平成 2 8 年度西予市一般
会計補正予算（第 3 号）

開会 午後1時30分

○議長 ただいまの出席議員は20名であります。これより平成28年第2回西予市議会臨時会を開会いたします。

管家市長より今臨時会招集の挨拶があります。

管家市長。

○管家市長 平成28年第2回西予市議会臨時会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

暦の上では既に立秋を過ぎたものの、残暑は殊のほか厳しく、猛烈な暑さが続いております。ことしの夏は、全国高等学校野球選手権大会のほか、リオデジャネイロオリンピックが同時に開催されており、高校球児や日本選手の活躍が連日テレビで報道されることから、熱い声援を送る毎日でもあらうかと存じます。

さて、去る8月3日に発足いたしました第3次安倍第2次改造内閣では、衆議院愛媛4区選出の山本公一氏が環境大臣並びに原子力防災担当大臣として初入閣されました。また、塩崎厚生労働大臣が再任をされ、愛媛県関係国会議員が実に18年ぶりに同時入閣となりました。県民の一人として誇らしく、大変うれしく感じている次第でございます。

経済の再生、社会保障、地方創生、防災・減災対策等の重要課題に対して、地方の事情や意見を反映されながら取り組んでいただき、安全・安心して住める地域社会づくりに一層のご尽力とお力添えをお願いするとともに、ご活躍を期待するものであります。

また、先週8月12日には、伊方原発3号機が再稼働されたところでありますが、本市は伊方原発から30キロ圏内に位置することから、原子力災害が発生した場合に避難の対象区域となるため、多くの市民が不安を抱いておられるところでありますので、ハード、ソフト両面でのさらなる防災対策の充実に取り組んでいただきたいと考えているところでございます。

さて、去る7月28日から31日にかけて、第72回国民体育大会のリハーサル大会として位置づけた第56回全日本実業団女子ソフトボール大会を全国各地域代表13チームを迎えて、盛大に開催することができました。競技会場として改築された西予市営宇和球場並びに宇和運動公園多目的広場については、大会関係者から高い評価をい

ただいたところでありますが、リハーサル大会では運営上の課題等も見えてまいりました。この経験を生かしまして、残り400日余りとなりました2017愛媛つなぐえひめ国体の開催に向けてしっかりと準備を進めてまいりたいと考えております。

今週末には、相撲競技のリハーサル大会と位置づける第55回全国教職員相撲選手権大会を乙亥会館におきまして開催いたします。全国からお越しいただく20チームの選手の皆さんを西予市ならではのおもてなしの心でお迎えしたいと考えているところでございます。温かいご声援をいただきますようお願い申し上げます。

さて、本日の臨時議会は、財産の取得案件及び一般会計補正予算の議案2件を上程し、ご審議をお願い申し上げるものでございます。どうか慎重にご審議いただき、ご決定賜りますようお願いを申し上げまして、招集の挨拶とさせていただきます。

○議長 これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

(日程1)

○議長 まず、日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今回の会議録署名議員に、5番中村一雅君、6番河野清一君の両名を指名いたします。

(日程2)

○議長 次に、日程第2、会期の決定を議題いたします。

お諮りいたします。

今回の会期は、本日1日としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 異議なしと認めます。よって、今回の会期は、本日1日と決定いたしました。

(日程3)

○議長 次に、日程第3、議案第111号「西予市消防団消防ポンプ自動車の取得について」を議題いたします。

理事者の説明を求めます。

西川消防本部消防長。

○西川消防本部消防長 それでは、議案第111号「西予市消防団消防ポンプ自動車の取得について」提案理由のご説明を申し上げます。

現在、西予市消防団城川方面隊土居分団第1部に配備しております消防ポンプ自動車は、平成7年に導入したもので、以来21年が経過しており、更新計画に基づいた検討を行ってきたところであります。

このたび購入いたします消防ポンプ自動車は、迅速な消火活動を可能にするため、放水性能にすぐれた高機能ポンプを搭載し、また消防団員が夜間安全に活動できるよう最新の照明器具を装備するなど、機能向上を図る仕様としております。

今回の購入に当たりましては、去る8月3日に指名競争入札を行い、株式会社J A東宇和サービス代表取締役三好孝芳氏が2,084万4,000円で落札と決定し、備品購入仮契約を締結しましたので、議会の議決を求めるものであります。

なお、消防ポンプ自動車の詳細な性能及び主要装備については、別紙参考資料をご参照ください。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

○議長 理事者の説明は終わりました。

これより本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長 以上で質疑を終結といたします。

お諮りいたします。

議案第111号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長 異議なしと認め、そのように決定いたしました。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

お諮りいたします。

議案第111号「西予市消防団消防ポンプ自動車の取得について」は原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、議案第111号は原案のとおり決定いたしました。

（日程4）

○議長 次に、日程第4、議案第112号「平成

28年度西予市一般会計補正予算（第3号）」を議題といたします。

理事者の説明を求めます。

管家市長。

○管家市長 議案第112号「平成28年度西予市一般会計補正予算（第3号）」について提案理由のご説明を申し上げます。

今回の補正予算案でございますが、概要といたしましては、昨年11月に決定された国の一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策を踏まえ、緊急対策として創設された地方創生加速化交付金事業の第2次募集において、当市の事業計画が採択されたことを受け、関係事業費を予算措置するものであります。

また、6月から7月にかけて梅雨前線豪雨による被害を受けた公共施設等の災害復旧費を計上いたしております。

今回の補正にあります一億総活躍社会の実現に関しましては、政府は去る8月2日の日に未来への投資を実現する経済対策として、事業規模28兆円を超える経済対策を閣議決定したところであります。現段階では、地方に対する具体的な事業の内容まで確認できておりませんが、近いうちに経済対策にかかわる具体的な事業メニューが打ち出されることが期待されております。今後、国、政府の動向に注視し、迅速に対応できるよう準備を整えたいと考えております。

それでは、今回の補正の主な内容についてご説明をさせていただきます。

まず、地方創生加速化交付事業にかかわる伊予生糸推進事業ですが、本年2月2日に地理的表示保護制度に登録された世界一品質の高い伊予生糸のブランド化に向け、商品や産地の魅力を発信するとともに、新たな商品開発や事業者間の連携を推進するものであります。その一つとして、えひめ国体や東京オリンピックでの使用を見据えたメダル帯の試作に取り組みたいと考えております。

また、産業としての安定的なブランド化を図るため、担い手や技術者の育成等を行いながら、繭と生糸の生産量の増加を目指した取り組みと支援を実施し、魅力ある産業の確立と内発的な雇用の創出を図るものであります。事業費につきましては1,361万7,000円を計上いたしております。

続いて、ジオブランド推進事業は、四国西予ジ

オパークで生産される数多くの多様な商品について、生産に至る背景を重視した新たなブランディング戦略を展開するものであります。

既存のジオの恵みブランドをベースに新たに基準を定めた「ジオの至宝」ブランドを創出し、他の製品との差別化、高付加価値化を図り、より地域性を打ち出すことによって、販売力と売り上げの向上を目指し、地域全体の活力創造を図るとともに、ジオパークを柱とする産業を市の成長産業へと導こうとするものであります。目標といたしましては、5年以内に30品目を「ジオの至宝」ブランドに認定したいと考えております。

さらに、消費者を引きつけるブランドイメージを定着させるため、音楽や映像を効果的に活用するイメージ戦略も展開することといたしております。事業費につきましては3,848万5,000円を計上いたしております。

また、6月から7月にかけての梅雨前線豪雨につきましては、宇和町大江地区の池の決壊や明浜町宮野浦から田之浜間での大規模な崩落が発生するなど、市内各地において被害が発生いたしました。それらの災害復旧対策として農業用施設、林道、市道等の復旧事業にかかわる経費3億6,522万7,000円を計上いたしております。これらの財源につきましては、国からの地方創生加速化交付金5,158万5,000円、災害復旧費国庫負担金1億6,924万9,000円、災害復旧費分担金1,980万9,000円、地方債1億3,610万円のほか、財政調整基金4,058万6,000円を繰り入れております。

これらの結果、歳入歳出予算の補正は、既決いただいております歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億1,732万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を304億9,462万7,000円と定めるものであります。

以上が今回の補正予算の概要であります。詳細な点につきましては担当課長から補足説明をさせていただきますので、よろしくご審議賜り、ご決定くださいますようお願いを申し上げます。

○議長 山岡財政課長。

○山岡財政課長 それでは、予算書に沿って、まず歳出のほうから補足説明を申し上げます。

予算書の9ページをお開き願います。

まず、国の地方創生加速化交付金の採択を受けた2事業についてでございます。これらの2事業

は、国の平成27年度補正予算の事業で繰り越しができないため早期の事業着手が必要で、8月2日の採択後、今回の臨時議会に提案するものでございます。

総務費、8項10目地域経済活性化事業費、伊予生糸推進事業1,361万7,000円ですが、この事業は販売と生産の両面からシルク産業の復活を目指した取り組みを支援するものでございます。

大きく3つに分け、1つ目の産業化、商品化による仕事づくりにつきましては、伊予生糸振興計画を作成し、産業としての自立化へ向けた長期的な道筋を示すものであります。また、産業化へ向けて染織講座受講者やシルク製品に関する事業所との連携による新たな商品開発や販売支援を行うものであります。その経費といたしまして、委員会の設置費用やアドバイザー等の費用として報償金、旅費、商品開発等の費用として原材料費、備品購入費など430万5,000円。

2つ目のブランド化による伊予生糸の高付加価値化につきましては、地理的表示保護制度GIの認定を受けて世間の関心も高まっている中で、伊予生糸に関する正確な情報発信を行い、えひめ国体や東京オリンピックへのメダル帯としての伊予生糸の使用を目指した取り組みを進めるものでございます。その経費といたしまして、メダル用の帯試作費用や養蚕ホームページ作成費用、市場調査や見本市の出展費用として委託料309万5,000円。

3つ目の産地化に向けたバックアップ体制の構築につきましては、養蚕業従事者の平均年齢が高齢化する中で、次世代、次代への技術の伝承や後継者育成が重要となっておりまいますので、既存の稚蚕飼育施設を研修施設として活用できるよう整備し、技術の伝承を行うとともに、伊予生糸の特徴として上げられる繰糸機械の維持整備のための研究を行うものでございます。その経費といたしまして9ページと10ページになりますが、委託料、研修施設化補助金など621万7,000円を計上いたしております。

続いて、ジオブランド推進事業費3,848万5,000円ですが、この事業は当市のまちづくりの担い棒であるジオパークを中心として、庁舎内の関係課が組織横断的に連携してジオパークの物語と西予市の産品を結びつけた地域産

品の魅力向上、販売力の向上を目指すものでございます。具体的にはジオパークと地域産品の魅力をセットにした「ジオの至宝」という新ブランドの創出を行い、都市部をターゲットに市内産品の販路拡大を図るもので、大きく4つの項目について取り組んでまいります。

まず、1つは「ジオの至宝」ブランディング事業管理運営でございます。これは「ジオの至宝」という新ブランドの創出と事業の管理運営を行うため、関係者、各種団体と連携したブランドの推進体制を整えるものであります。その経費といたしましては、予算書の9ページでございますが、事務費的なもので賃金、報償金など270万円でございます。

2つ目は、ブラッシュアップ戦略、つまり商品の磨き上げでございます。これは、市内産品の魅力アップのためにパッケージデザインの刷新や商品の組み合わせによる新商品の開発など、地域産品を磨き上げていく事業を行うものでございます。その経費といたしましては、商品発掘に係るジオブランド推進業務委託料、販路開拓や加工品開発に係る市産品販売促進支援事業補助金、農林水産物加工品開発事業補助金など360万円でございます。

3つ目は、イメージ戦略でございます。これは、ジオパークが持つ物語と関連を持たせ、映像や音楽を活用し、「ジオの至宝」をブランド商品としてのPRを行うものでございます。西予市の魅力やそこで働く人の姿を消費者に物語としてPRすることによって、商品価値を高めていくものでございます。その経費といたしましては、専門家と連携した楽曲、動画、プロモーションビデオの制作、見本市、ジオの至宝体験ツアー、マスコミのPR等のための関連委託料、会場借り上げ料など2,728万5,000円でございます。

最後に、4つ目の高付加価値化戦略でございます。これは、プロの料理人など、食に精通した方に依頼し、西予市の食材を活用したレシピ開発とそのメニュー活用を都市部において行うものでございます。また、レストランにおける西予市フェアの展開や消費者との交流、店舗における西予市産品の販売など、一般消費者向けの「ジオの至宝」ブランドのPRと販路拡大の仕掛けをつくっていく事業を行うものであります。その経費といたしましては、レシピ開発に係るジオブランド業

務委託料、イベント販売や商業施設販売コーナー借り上げなど490万円でございます。

次に、早期に対応が必要な災害復旧費でございます。

10ページをお開き願います。

災害復旧費、1項1目から3目までの農地、農業用施設、林業用施設災害復旧事業費を合わせた合計で2億4,800万1,000円と6項1目道路橋梁河川災害復旧事業費1億1,722万6,000円、これらの災害復旧事業費全体では3億6,522万7,000円でございます。

この内訳といたしましては、補正予算説明資料の3ページに記載しておりますが、農地災害復旧事業、補助対象事業6カ所、単独事業27カ所、農業用施設災害復旧事業、補助事業5カ所、単独事業15カ所、崩土取り除き16カ所、林業用施設災害復旧事業、補助事業7カ所、単独事業10カ所、崩土取り除き1カ所、道路橋梁河川災害復旧事業、補助事業道路6カ所、河川1カ所、単独事業、道路39カ所、河川7カ所、その他1カ所、崩土取り除き55カ所でございます。

予算書は前に戻っていただきまして7ページをお開き願います。

主な歳入につきましてご説明を申し上げます。

分担金及び負担金、1項2目農林水産施設災害復旧費分担金でございますが、国庫補助事業費総額2億1,180万円に対して、国庫補助を控除した額の2割に相当するもので、総額で1,980万9,000円を増額するものでございます。

次に、国庫支出金、1項5目災害復旧費負担金でございますが、災害全体の国庫負担対象事業費2億9,650万円に対しまして、事業費の道路橋梁河川は3分の2、農地と農業用施設は50%、農業用施設は50から65%で、総額で1億6,924万9,000円を計上するものでございます。このほか、2項8目総務費国庫補助金、地方創生加速化交付金5,158万5,000円でございますが、対象事業費に対して100%の補助率でございます。

8ページをお開き願います。

これら歳出予算に対して4,058万6,000円の一般財源が必要となるため、繰入金、2項1目財政調整基金繰入金を4,058万6,000円増額するものであります。

4ページ、及び詳細につきましては8ページを

お願いします。

最後に、地方債の補正といたしましては、災害復旧事業費に対する国庫負担金等ほか不足する財源を補うため、総額で1億3,610万円の災害復旧事業債を追加して、地方債の限度額を全体で61億3,420万円とするものであります。

以上、補足説明とさせていただきます。

○議長 理事者の説明は終わりました。

これより本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

森川一義君。

○19番森川一義君 9ページの委託料についてですが、1,370万5,000円ほどの委託料ですが、どういうところへ委託するのでしょうか。西予市の職員には優秀な人がおられると思いますが、その職員ではこの仕事はできないのでしょうか。

○議長 宗総務部長。

○宗総務部長兼企画財務部長 ただいまのご質問の委託料の委託先でございますけれども、それぞれに専門業者にやっぱり委託しないと、職員だけでは対応できないという専門分野がございますので、そういったところにつきましては、専門業者のほうに委託をするというふうに考えております。また、市職員でできる分につきましては、もちろん市職員が対応するというふうなことで対応したいというふうに考えております。

以上、答弁といたします。

○議長 21番酒井宇之吉君。

○21番酒井宇之吉君 地方創生加速化交付金についてお尋ねをいたします。

本議案書におきましては3,848万5,000円ということに計上されております。その中で細目につきましても、先ほど質問がありました委託料に含めましても言えることでございますけれども、この3,848万5,000円の中で、細かく財政課長がお話ししていただきましたけれども、これはその中での移動があるという予算と考えるといいんですか。議案書に出た金額の中での説明だったら、その中での細かい、今回非常に細かいのがたくさん説明がありました。それにつきましては、マスコミ等の経費なんか150万円というような計画を立てて、それをオーバーするときとか、そういうことまで我々の議決の中に入れるべきではないかではないかと私は思っております。

す。その点について、まずお尋ねをしておきます。

○議長 山岡財政課長。

○山岡財政課長 お尋ねの件ですが、予算の流動性の範囲の中で許される分については対応していくという考えでございます。

○議長 酒井宇之吉君。

○21番酒井宇之吉君 予算の流動性の中での、先ほど説明した細かい分につきましても、流動性があるという解釈でよろしいわけですね。

○議長 山岡財政課長。

○山岡財政課長 基本的には、予算のとおりに予定をしているわけですが、やむを得ない場合はそういったことも生じる可能性があるということでございます。

○議長 酒井宇之吉君。

○21番酒井宇之吉君 意外と、今まで西予市の宣伝の仕方は下手だということが他の市町村と比べて言われておりますが、やはりマスコミ対策とかそういうことに対して、もっと積極的な予算を上げるべきだと、私はこういうふうに常々考えております。それがあわせてございますので、その流動性の中で、マスコミ等の経費が150万円、どういうものに使われるか私もまだ把握しておりません。ただし、こういうものに対して積極的に取り組んでいく必要が、西予市の名前を売るためにはしっかりとこういうものに増額していくとか、例えば統一イメージによる販路拡大1,719万円、これ上げておりますけれども、この中にもマスコミ対策とかマスコミのほうへ宣伝していく費用なんかが結構入っていると思うんです。このあたりも上手にやっていただきたい、このように思っておりますが、いかがでしょう。

そして、もう一点お尋ねしておきます。

統一イメージというのがいろんな統一イメージがございますけれども、現在考えておられる統一イメージとは、音楽もありましょうし、絵もありましょうし、キャラクターもありましょう。このあたりでどのように考えておられるかをお尋ねをしておきます。

○議長 二宮産業建設部長。

○二宮産業建設部長 ただいまのご質問でございますけれども、財政課長の説明の中にもございましたように、2つの事業が今回この加速化交付金で取り組まれるわけでございますけれども、その

事業の中にも伊予生糸の関係に関しましては、3つの事業を進めていこうということでございますし、ジオの至宝ブランディング関係につきましては、4つの取り組みを進めていく予定にしております。

したがいまして、予算書に出てまいります委託料、借り上げ料等につきましては、それぞれの事業の中で計画をされているものが合わさっておりますので、委託料につきましても1,370万円ちょっとになっておりますけれども、中身を申し上げますと、ジオブランディング推進事業の関係委託料として310万円が計上されておりますし、またジオミュージックコンテスト、あるいはジオミュージックの作曲ツアーの委託料あたりを合わせて500万円程度組まさせていただきます。

さらに、養蚕関係の振興アドバイザーの委託料、あるいは伊予生糸推進業務委託料、これはオリンピックあたりへの売り込みを行っていくための試作品をつくったりする部分も含まれておりますけれども、そういうものが合わせて500万円程度予算化されております。

したがいまして、細かく申し上げますと、その節の中でのそれぞれの事業への割り振りがございますので、またその辺は今ご指摘いただきましたように、内部での流用の可能な部分はPR等にも十分活用していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

(21番酒井宇之吉君「議長、4回目ですので許可をお願いします」と呼ぶ)

○議長 酒井宇之吉君。

○21番酒井宇之吉君 答弁がございませんでしたので、議長に4回目の許可を得ましてお尋ねしますが、統一イメージをどのように考えているかお尋ねしておきます。お答えがなかったです。

○議長 二宮産業建設部長。

○二宮産業建設部長 加速化交付金の中のジオの関係につきましては、統一イメージはあくまでも四国西予ジオパークを主体とした形での売り出しを考えております。

養蚕の関係につきましては、これとはまた別になってまいりますけれども、養蚕業を継続していくための取り組みというふうにご理解いただいた

らと思います。

○議長 その他質疑はありませんか。

17番小野正昭君。

○17番小野正昭君 伊予生糸推進事業の1,361万7,000円についてお伺いをしますけれども、先ほど二宮産業建設部長は東京オリンピック等のメダルの帯料というようなことで答弁がありましたけれども、その中で帯製作委託料150万円どうも計上されておるようでございますけれども、その見通し、進捗状況等がわかれば答弁を願いたいと思います。

○議長 二宮産業建設部長。

○二宮産業建設部長 現段階におきまして、東京オリンピックの関係につきましては、まだ何とも申し上げにくい部分はございます。ただ、県を通じまして売り込みをさせていただいている中で、やはり見本がないと、こういうものができますよという形のものがないとPRもしにくいということのご指摘も受けております。そういった意味で、たまたま今回は加速化交付金をうまく活用してこれを、補助事業でございまして利用してやっていきたいということで、今回計上させていただきましたけれども、もともと私どもといたしましては、単費ででもこれはつくってPRをしていく覚悟でございました。

なお、国体の関係につきましては、まだこれも決定でございませぬので、はっきりとしたことは申し上げられませんが、何とか活用の方向でご検討いただいているという情報は入っております。

以上でございます。

○議長 小野正昭君。

○17番小野正昭君 私この事業、大変西予市を売り込むのに当を得た事業だと思っています。過去にイギリスのエリザベス女王の戴冠式、それから先般の伊勢神宮の遷宮のときにも当市の糸が採用されましたけれども、今回国体ということでしたら国内ですけれども、オリンピックということになりましたら世界各国にそれを宣伝、PRする唯一の機会だと思いますので、この件につきましては予算の都合もありましようけれども、ぜひ採用していただくように、そういう予算措置をして遠慮ない宣伝活動、営業活動をしていただけたらと思います。

○議長 二宮産業建設部長。

○二宮産業建設部長 答弁にはなりませんけれど

も、激励をしていただきまして、私どもも力強く感じております。国体の利活用ももちろんですが、できればオリンピックのどこかで使っていただくように、今後とも引き続いてPR活動を続けてまいりたいというふうに考えております。ありがとうございました。

○議長 その他質疑ありませんか。

19番森川一義君。

○19番森川一義君 4ページの補正についてですが、利率が4%以内とありますが、4%ということはちょっと高いような気がします。今、マイナス金利の時代で4%というのは前から以上の金利だと思いますが、これ2%と4%やったら倍の違いになります。安く借り入れる方法をしっかり考えてもらいたいと思います。

○議長 暫時休憩といたします。（休憩 午後2時14分）

○議長 再開いたします。（再開 午後2時15分）

山岡財政課長。

○山岡財政課長 ご指摘いただいた利率が現実と比べて非常に高いんじゃないかというご指摘をいただきました。

これにつきましては上限額を定めておりまして、実際には非常に低利で借りておりますので、決してこのような率ではないということでご認識いただけたらと思います。

○議長 その他質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長 以上で質疑を終結といたします。

お諮りいたします。

議案第112号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長 異議なしと認め、そのように決定いたしました。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

お諮りいたします。

議案第112号「平成28年度西予市一般会計補正予算（第3号）」は原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長 ご着席ください。

起立全員であります。よって、議案第112号は原案のとおり決定いたしました。

以上で本臨時会の日程は全て終了いたしました。

これをもって平成28年第2回西予市議会臨時会を閉会といたします。

閉会 午後2時16分

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

西予市議会議長

同 議員

同 議員

平成 2 8 年第 2 回西予市議会臨時会議決結果表

議案番号	件 名	議決年月日	議決結果
議案第 1 1 1 号	西予市消防団消防ポンプ自動車の取得について	28. 8. 18	原案可決
議案第 1 1 2 号	平成 2 8 年度西予市一般会計補正予算（第 3 号）	28. 8. 18	原案可決